

# 目標の進捗状況報告書

(2012年度・大学)

担当部局は   ☆印の箇所を記入してください。

## I. 評価項目・要素と担当部局

本シートでの自己点検・評価を行う部局と項目・要素は次のとおりである。

対象部局	神学部
大項目	6 教育内容・方法・成果
中項目	6.3 教育方法
小項目	6.3.1 教育方法および学習指導は適切か。
要素	教育目標の達成に向けた授業形態（講義・演習・実験等）の採用 履修科目登録の上限設定、学習指導の充実 学生の主体的参加を促す授業方法 研究指導計画に基づく研究指導・学位論文作成指導（院） 実務的能力の向上を目指した教育方法と学習指導（専院）
小項目	6.3.2 シラバスに基づいて授業が展開されているか。
要素	シラバスの作成と内容の充実 授業内容・方法とシラバスとの整合性
小項目	6.3.3 成績評価と単位認定は適切に行われているか。
要素	厳格な成績評価（評価方法・評価基準の明示） 単位制度の趣旨に基づく単位認定の適切性 既修得単位認定の適切性
小項目	6.3.4 教育成果について定期的な検証を行い、その結果を教育課程や教育内容・方法の改善に結びつけているか。
要素	授業の内容および方法の改善を図るための組織的研修・研究の実施

## II. 目標の進捗評価と進捗状況報告(2012.4.30現在の進捗状況報告)

### 《進捗評価》

本項目において、2009年度～2013年度の中期的な「目標」と「指標」を次のとおり設定し、毎年度進捗状況の自己評価を行っている。

進捗評価はA、B、C、Dの4段階とし、2012年4月30日現在における目標の達成度評価(2013年度の達成に対してどこまで進んだかの評価)を行った。

A、B、C、D評価は目安として次のようなものである。

- A : 目標実現のための計画や方策などを適切に実行し、目標を達成している。もしくはほぼ達成している。
- B : 目標実現のための計画や方策などを概ね適切に実行しているが、まだ目標は達成していない。
- C : 目標実現のための計画や方策などを実行しているが十分ではなく、目標は達成していない。達成にはまだしばらく時間がかかる。
- D : 目標実現のための計画や方策などを実行していない。当然目標は達成していない。

2009年度に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗評価				
		2009	2010	2011	2012	2013
1. カリキュラム・ポリシーと関連してシラバスが作成されているか検証する制度を構築する。	→既存のカリキュラム研究委員会(学部)による検証および教授会に対する報告(2013年度までに)。	C	B	B		
2. 上記目標を実現するために、FD活動を充実させる。	→学部独自の課題に対応するFD研修会の開催(年2回)。	B	B	B		
3. 学生による授業評価をFD活動にフィードバックさせる。	→学生による授業評価のFD研修会への反映。	C	C	C		
		☆				
2010年度以降に設定した「目標」	左記目標の「指標」	2009	2010	2011	2012	2013
	→					
	→					

## 《進捗状況》

目標の進捗状況について次のとおり簡単に説明する。

目標1	授業担当教員へのシラバス作成依頼に際しては、カリキュラム・マップを参考に、その要素を科目の「到達目標」へ反映するよう要請した上、シ公開の前段階において、教務主任および事務担当者を中心にその適切性を点検している。それらは、カリキュラム研究会（学部）、教授会へ報告され、改善を促すこととしているが、継続的な検証の仕組み構築については今後の課題である。
目標2	FD研修会は専任（年2回）／非常勤教員（年1回）ごとに開催し、それぞれの視点での独自課題にも言及している。ディプロマ・ポリシーおよびカリキュラム・ポリシーについても取り上げ、各授業におけるシラバス作成にあたって、それらをどのように活用すべきか、について理解を共有し、意見交換を行っている。
★ 目標3	授業評価については、マークシートおよびWEB（2012年度より）にて全学的に実施をしている。評価結果については、各教員において個別的に授業の改善に活用しているが、FD研修会等で結果を共有し、学部全体のFDに反省させるまでには至っていない。
備考	